



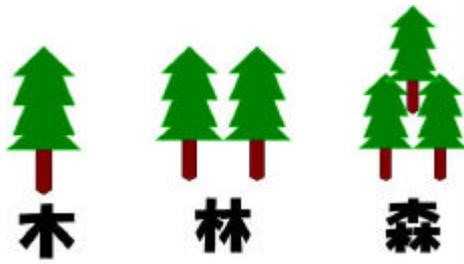
多良峡もみじ少年団 便り



森の知識 第1回 木と林と森

木と林と森の違いって知ってますか？木は、一本の木って言うように木の最小単位です。山に生えた一本の木というような生えている木を指す場合や木の棒とか器とか材質を表わす場合もあります。今回は、生えている木のお話です。

次に林ってなんでしょう？木が2本並んで立っている様子、生やすから来ているとも言われています。だから人工的に植えた木がたくさんある所を林、もっとたくさん生えて盛り上がっている所を森といいます。でも人工林のほか天然林って言い方もあるようなので本当かな。木が並んでたくさん生えている場所を林、こんもりと茂って神社の裏山やまのようになっている場所を森って言うのが一番合っている気がします。神社がある鎮守の森とかトトロの森のイメージですね。



もみじの豆知識 モミジとカエデの違いって何かな

もみじとかえでは、すべてカエデ科カエデ属の植物です。違いは名前の付け方。紅葉から名付けられたモミジと葉形から名付けられた「蝦手」、蝦手は切れ込んだ葉の形をかえるの手に見立てたものでカエルテがカエデになったそうです。「万葉集」には「黄葉」として登場しています。木々が色づく事を表した動詞「もみづ」から来ていると言われています。これからは紅葉、黄葉するものすべてが「もみじ」と言えます。カエデとかモミジの種類はたくさんあって、多良峡に植えるもみじは、高雄もみじとかいろはもみじって言われる種類です。秋には、色づいたもみじを見ながら楽しむモミジ狩りもいいですね。春には、目にやさしい新緑を楽しみ、秋には真っ赤な紅葉を楽しむ、もみじを見ながらゆっくりと時間を過ごす、そんな最高の場所に多良峡がなるように皆でもみじを植えましょう。

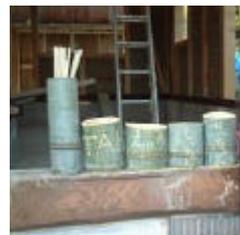


もみじの里親

11月22日の土曜日に多良峡にもみじを植えます。4月に生えた小さな芽が双葉から本葉に変わり少し大きくなり根もしっかりとして来た5月頃に1本ずつ丁寧に引っっこ抜き発泡スチロールの箱などに植え替えました。ここで少し大きしてからピニールの植木鉢に植え替えます。こうやって一本一本鉢に入れて育てると山に植える時にそのまま鉢を外して植える事が出来るんです。植樹のイベントで用意された苗を植えるだけでなく、小さな苗をみんなで育ててみましょう。こうやって育てたもみじの苗を自分の手で植える。植えた場所を覚えておいて毎年大きくなるのを楽しみに見に行く。3年も経つと自分の背より大きくなりますよ。そして自分が成人式を迎える頃、多良峡は、真っ赤に色づいたもみじで一杯になっているでしょう。小さな苗を自分で大きく育てる、もみじの里親も経験してみましょう。暑い夏の白、水をやらなければ枯れてしまうし、虫に食われたり病気がかかってしまうかもしれません。大切に育てすぎ水をやりすぎると根が腐ってしまう事もあります。君たちもお父さんお母さんがこうやって育ててくれているんですよ。植物といっても命があります。大切にしようね。

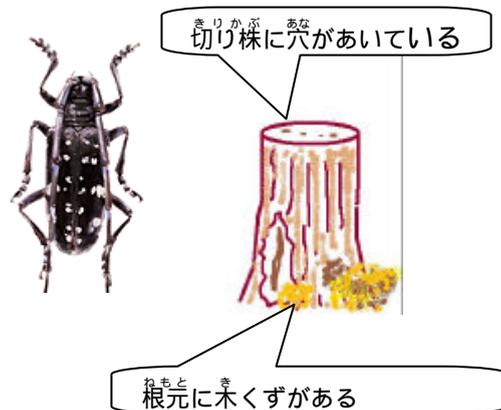
なが 流しそうめんであそ 遊ぶよ

なが 流しそうめんってやった事ありますか。そうめんのながれる 筒、これはたけでできています。たけも生えている ところ 竹林といって 林の仲間です。竹の 林も手入れをせずにはかかっておくと問題が起きるんですよ。問題については、また一緒に勉強しましょう。なが 流しそうめんをやるのには、たけを切って、真っ二つに割って、節を取り、怪我をしないように縁を削り準備します。切ったり割ったり削ったりは、木と一緒にですね。竹を加工する道具には、のこぎり、なた、カンナ、ノミなどを使います。こんな道具も覚えようね。割った竹でお箸を作ったり、器も出来るんだよ。こんな楽しいなが 流しそうめんを8月17日(日曜日)に昔上石津役場があった広場で開催します。この時には竹についても勉強しようね。今から予定をたてて参加できるようにしてね。



木の害虫って知ってますか カミキリムシの話

松枯れ病って聞いたことがありますか。大きな松が虫にやられて枯れてしまうんです。虫が運んでくる悪い菌のせいって言われていますが、もみじにも悪い虫が付きます。多くは黒い体に白い点があるゴマダラカミキリです。飛んできて枝をかじり、根元に卵を産みます。幼虫は木の中に入り、食べて空洞にして枯らしてしまいます「テッポウムシ」と呼ばれるものでもみじだけでなく広葉樹に付き、私の家でもリンゴの木が昨年やられました。切った株に穴があったり根元にのこぎりのくずのようなものがあつたらそれです。



クワガタ採りに挑戦してきました

大垣市主催のウイークエンドファミリースクールに参加してきました。第1回目はクワガタの採り方と飼育方法でした。講師の先生は、クワガタが好きで東南アジアなど世界中を飛び回ってみえ、沢山のコレクションを見せていただきました。図鑑にも載っていない方法との説明でしたが、昼間くぬぎなどの雑木の蜜を求めてくるクワガタを捕まえたり、木を足で蹴飛ばす方法でした。多良のお父さん達は、皆小さな頃やっていた方法でしたよ。私はカブトムシ1匹とクワガタ2匹を捕まえました。先生の話では、温暖化の影響でミヤマクワガタが少なくなったと言ってみえました。クワガタの飼育方法を書いた資料を頂いてきました。興味のある人は私に声をかけてください。



次号の発行は、8月 東海地区サマージャンボリーの様子をお伝えする予定です！



多良峡もみじ少年団 団員募集中！ 事務局 大嶽まで

発行：多良峡もみじ少年団事務局 責任者：大嶽 喜久

〒503-1625 大垣市上石津町宮

TEL 090-***** eメール：info@tarakyo-momiji.com

秋の多良峡もみじ植栽イベントは 11月22日(土曜日)開催予定です！